

国土数值情報（海岸線台帳）

製品仕様書

第 1.0 版

---

平成 26 年 3 月

国土交通省国土政策局

---

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2014 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) ver.2.1 準拠 (符号化仕様は GML 準拠) 統一フォーマット形式の変換作業に伴い作成

# 目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 国土骨格パッケージ.....	5
4.1.3 海岸線パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	10
4.2 空間スキーマプロファイル.....	10
4.3 時間スキーマプロファイル.....	10
5 参照系.....	10
5.1 座標参照系.....	10
5.2 時間参照系.....	10
6 データ品質.....	11
7 データ製品配布.....	15
7.1 配布書式情報.....	15
7.2 配布媒体情報.....	15
8 メタデータ.....	16

## 付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

# 1 概覧

## 1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（海岸線台帳）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：2014 年 3 月 14 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：陸水
- 文書書式：PDF

## 1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の海岸線について、位置（線）、所管官庁、海岸保全区域（海岸法に基づき指定された一定の海岸の区域）の海岸名及び海岸管理者、河口有無等を整備したものである。

## 1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
  - 日本全国
- 時間範囲
  - 昭和 59 年（作成時点：平成 13 年 6 月末）

## 1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

## 1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス  
URL : [http : //www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html](http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html)

## 1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

## 1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : [http : //nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html](http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html)

## 2 適用範囲

---

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

### 2.1 適用範囲識別

国土数値情報（海岸線）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

### 2.2 階層レベル

データ集合

## 3 データ製品識別

---

### 3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（海岸線台帳）データ

■ 日付

2014 年 3 月 14 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

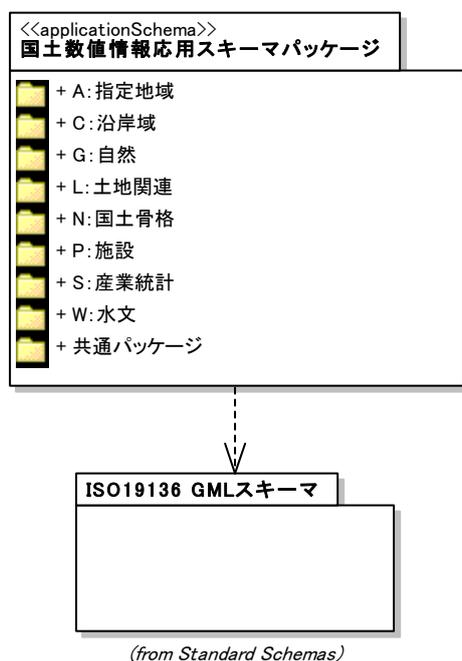
## 4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

### 4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

#### 4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



## 4.1.2 沿岸域パッケージ

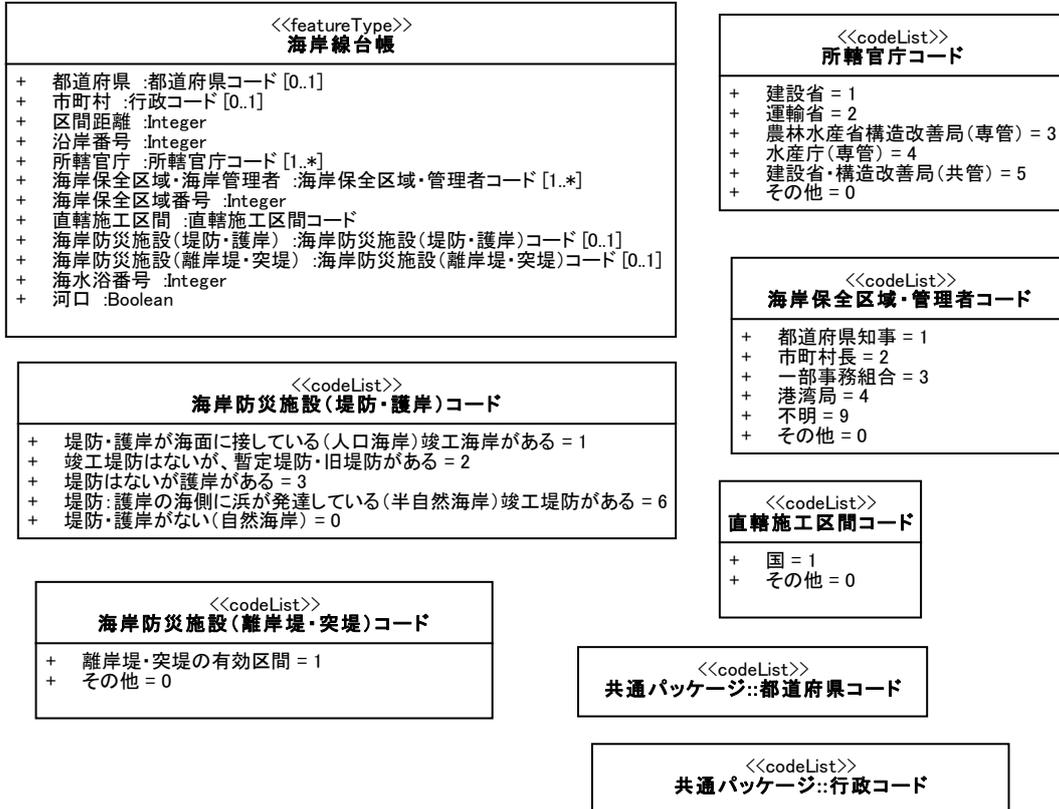
このパッケージは、沿岸域に関するパッケージをまとめたものである。

<<applicationSchema>> C01: 瀬砂・海洋施設	<<applicationSchema>> C04: 沿岸海域メッシュ	<<applicationSchema>> C05-a: 波向メッシュ	<<applicationSchema>> C05-b: 高潮メッシュ	<<applicationSchema>> C05-c: 自然漁場メッシュ
<<applicationSchema>> C07: 海岸施設・感潮限界	<<applicationSchema>> C08: 高潮・津波テーブル	<<applicationSchema>> C09: 漁港(H25)	<<applicationSchema>> C10: 増養殖施設	<<applicationSchema>> C11: 漁礁
<<applicationSchema>> C12: 海底敷設線・架空線	<<applicationSchema>> C13: 架橋	<<applicationSchema>> C14: 環境基準類型あてはめ水域	<<applicationSchema>> C15: 生活環境項目	<<applicationSchema>> C20: 航路
<<applicationSchema>> C21: 漁業権設定区域	<<applicationSchema>> C22: 航区	<<applicationSchema>> C24: 海岸線台帳	<<applicationSchema>> C25: 海水浴台帳	<<applicationSchema>> C26: 埋立・干拓区域
<<applicationSchema>> C27: 埋立・干拓区域台帳	<<applicationSchema>> C30: 砂利採取場	<<applicationSchema>> C31: 自然公園区域	<<applicationSchema>> C32: 国土保全関連区域	<<applicationSchema>> C33: 保護水面
<<applicationSchema>> C34: 低地地形分類	<<applicationSchema>> C35: 地盤沈下地域	<<applicationSchema>> C36: 感潮限界	<<applicationSchema>> C37: 地下水採取規制地域	
<<applicationSchema>> C38: 瀬戸内海環境保全特別措置法第五条第一項の地域界	<<applicationSchema>> C39: 環境基準類型指定水域(河川域)			
<<applicationSchema>> C40: 環境基準類型指定水域(河川域)台帳	<<applicationSchema>> C41: 環境基準類型指定水域(湖沼域)	<<applicationSchema>> C42: 環境基準類型指定水域(湖沼域)台帳		
<<applicationSchema>> C43: 大気汚染・水質汚濁総量規制地域界	<<applicationSchema>> C44: 大気汚染・水質汚濁総量規制地域台帳	<<applicationSchema>> C45: 海岸利用施設		
<<applicationSchema>> C46: 験潮場	<<applicationSchema>> C47: 河川区域台帳	<<applicationSchema>> C48: 保安林区域台帳		

### 4.1.3 海岸線台帳パッケージ

このパッケージは、海岸線に関する内容をまとめたものである。

#### 4.1.3.1 応用スキーマクラス図



#### 4.1.3.2 応用スキーマ文書

##### 海岸線台帳

全国の海岸線について，所管官庁，海岸保全区域（海岸法に基づき指定された一定の海岸の区域）の海岸名及び海岸管理者，河口有無等を整備したものである。

原典資料を次に示す。

海岸線区分図（各都道府県），管内図（各都道府県）

上位クラス：

---

抽象/具象区分：具象

---

属性

---

都道府県[0..1]：都道府県コード

都道府県を一意に識別するためのコード。

JIS 規格（JIS X 0401）に準拠する。

■ 定義域

01～47。

市町村[0..1]：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる，行政区を特定するためのコード。

JIS 規格（JIS X 0401，JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

JIS 規格が定める 5 桁のコード値。

区間距離：Integer

区間距離。単位=0.1m

沿岸番号：Integer

沿岸番号を一意に表す番号。

所管官庁[1..\*]：所管官庁コード

海岸線を所管する官庁を特定するコード。

農林水産省（農村振興局，水産庁），国土交通省（河川局，港湾局）。

■ 定義域

「所管官庁コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	建設省
2	運輸省
3	農林水産省構造改善局(専管)
4	水産庁(専管)
5	建設省・構造改善局(共管)
0	その他

海岸保全区域・海岸管理者[1..\*]: 海岸保全区域・海岸管理者コード  
海岸保全区域の海岸管理者を区分するためのコード。

(都道府県知事・市町村長・一部事務組合・港務局・不明・その他)

■ 定義域

「海岸保全区域・海岸管理者コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	都道府県知事
2	市町村長
3	一般事務組合
4	港務局
9	不明
0	その他

海岸保全区域番号: Integer

海岸法に基づく海岸保全区域の番号。

海岸保全区域番号が不明の場合は, "9999"を代入する。

直轄施工区間[0..1]: 直轄工事区間コード

国の直轄工事区間かどうかの区別。

■ 定義域

値	対応する内容
1	国が直轄で海岸保全事業を実施している場合
0	その他

海岸防災施設(堤防・護岸)[0..1]: 海岸防災施設(堤防・護岸)コード  
堤防・護岸の有無。

■ 定義域

値	対応する内容
1	堤防・護岸が海面に接している(人工海岸) 竣工堤防がある
2	竣工堤防はないが、暫定堤防・旧堤防がある
3	堤防はないが護岸がある
6	堤防・護岸の海側に浜が発達している(半自然海岸) 竣工堤防がある
0	堤防・護岸がない

海岸防災施設（離岸堤・突堤） [0..1] : 海岸防災施設（離岸堤・突堤）コード  
離岸堤・突堤の有効区間かどうかの区別。

■ 定義域

値	対応する内容
1	離岸堤・突堤の有効区間
0	その他

海水浴場番号[0..1] : Integer

海水浴場を一意に表す番号。

河口 : Boolean

河口部かどうかの区別。

■ 定義域

値	対応する内容
true	河口部
false	その他

#### 4.1.4 共通パッケージ

---

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

### 4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

### 4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

## 5 参照系

---

### 5.1 座標参照系

なし

### 5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

## 6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	海岸線台帳
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。</li> <li>・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。</li> </ul> <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参照データは、監督員が指定した資料（例：国土数値情報（行政区画）および海岸管理者の資料（海岸線区分図、管内図）を用い作成した入力基図）とする。</li> <li>・地物型が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</li> <li>・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</li> <li>・計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき可否を判定する。</li> </ul> <p>誤率=0% であれば“合格” 誤率&gt;0% であれば“不合格”</p>
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	海岸線台帳
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <p>参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。</p> <p>誤率 (%) = (漏れのデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参照データは、監督員が指定した資料（例：国土数値情報（行政区画）および海岸管理者の資料（海岸線区分図、管内図）を用い作成した入力基図）とする。</li> <li>・地物型が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</li> <li>・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</li> <li>・計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき可否を判定す</li> </ul>

	<p>る。</p> <p>誤率=0% であれば“合格”</p> <p>誤率&gt;0% であれば“不合格”</p>
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>データ集合のファイルの書式がXML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって評価する。</p> <p>一つ以上のエラーがあれば，“不合格”とする。</p>
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>符号化仕様が規定するXML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当なXML 文書（Valid XML document）でなければならない。</p> <p>XML スキーマに対するXML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。</p> <p>■地物に関する検査項目</p> <p>地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。</p> <p>■空間スキーマプロファイルに関する検査項目</p> <p>データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>応用スキーマを表現するXML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば，“不合格”とする。</p>
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体

データ品質評価尺度	<p>地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間属性及び時間属性が適用範囲に含まれない場合。</li> <li>・コードリストで表わされる主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。</li> </ul> <p>誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	<p>地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%</p>

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	海岸線台帳
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地物属性"都道府県"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"市町村"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"区間距離"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"沿岸番号"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"所管官庁"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"海岸保全区域・海岸管理者"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"海岸保全区域番号"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"直轄施工区間"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"海岸防災施設（堤防・護岸）"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"海岸防災施設（離岸堤・突堤）"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"海水浴番号"の内容が正しくない場合。</li> <li>・地物属性"河口"の内容が正しくない場合。</li> </ul> <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参照データは、監督員が指定する資料（例：国土数値情報（行政区域）、海岸管理者の資料、またはこれらを用い作成した資料）とする。</li> <li>・地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</li> <li>・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</li> <li>・計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</li> </ul> <p>“適合品質水準 ≥ 誤率”であれば“合格”  “適合品質水準 &lt; 誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%
適合品質水準	定量的な主題属性のエラーの割合：0%

## 7 データ製品配布

### 7.1 配布書式情報

#### ■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

#### ■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

[http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO\\_19136\\_Schemas/](http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/)

国土数値情報 (海岸線台帳) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

#### ■ 文字集合

UTF-8

#### ■ 言語

日本語を使用する。

### 7.2 配布媒体情報

#### ■ 単位

都道府県

#### ■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

## 8 メタデータ

---

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（海岸線台帳）製品仕様書 第 1.0 版

---

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
沿岸域					
C24 海岸線台帳					
	海岸線台帳			SeaLedger	seaLedger
	都道府県	都道府県コード		prefecture	prefecture
	市町村	行政コード		cityName	city name
	区間距離	Integer		sectionDistance	section distance
	沿岸番号	Integer		seaAreaNumber	sea area number
	所管官庁	所管官庁コード		competentAuthorities	competent authorities
	海岸保全区域・海岸管理者	海岸保全区域・海岸管理者コード		administrator	coast protection administrator
	海岸保全区域番号	Integer		areaNumber	coast protection area number
	直轄施工区間	直轄施工区間コード		directControlConstructionSection	directControlConstructionSection
	海岸防災施設(堤防・護岸)	海岸防災施設(堤防・護岸)コード		disasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetment	disasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetment
	海岸防災施設(離岸堤・突堤)	コード		disasterPreventionFacilitiesDetachedBreakwaterAndJetty	disasterPreventionFacilitiesDetachedBreakwaterAndJetty
	海水浴番号	Integer		swimBeachNumber	swimBeachNumber
	河口	Boolean		branchingBay	branching bay

## 付属資料-2 符号化仕様

---

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="SeaLedger" type="ksj:SeaLedgerType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="SeaLedgerType">
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence>
          <xsd:element name="prefecture" type="gml:CodeType" minOccurs="0">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>都道府県</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="cityName" type="gml:CodeType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>市町村</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="sectionDistance" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>区間距離</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="seaAreaNumber" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>沿岸番号</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="competentAuthorities" type="ksj:CompetentAuthoritiesCodeType"
maxOccurs="unbounded">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>所轄官庁</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administrator" type="ksj:AdministratorCodeType"
maxOccurs="unbounded">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>海岸保全区域・海岸管理者</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="areaNumber" type="xsd:integer">

```

```

    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>海岸保全区域番号</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="directControlConstructionSection"
type="ksj:DirectControlConstructionSectionCodeType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>直轄施工区間</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="disasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetment"
type="ksj:DisasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetmentCodeType" minOccurs="0">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>海岸防災施設(堤防・護岸)</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="disasterPreventionFacilitiesDetachedBreakwaterAndJetty"
type="ksj:DisasterPreventionFacilitiesDetachedBreakWaterAndJettyType" minOccurs="0">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>海岸防災施設(離岸堤・突堤)</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="swimBeachNumber" type="xsd:integer">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>海水浴番号</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="branchingBay" type="xsd:boolean">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>河口</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

```

```

<xsd:complexType name="SeaLedgerPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:SeaLedger" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SeaLedgerMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:SeaLedger" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="CompetentAuthoritiesCodeType">
  <xsd:union memberTypes="ksj:CompetentAuthoritiesCodeEnumType
ksj:CompetentAuthoritiesCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CompetentAuthoritiesCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>建設省</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>運輸省</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>

```

```

</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>農林水産省構造改善局(専管)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="4">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>水産庁(専管)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="5">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>建設省・構造改善局(共管)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>その他</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CompetentAuthoritiesCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```

```

<xsd:simpleType name="AdministratorCodeType">
  <xsd:union memberTypes="ksj:AdministratorCodeEnumType ksj:AdministratorCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="AdministratorCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>都道府県知事</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>市町村長</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="3">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>一部事務組合</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="4">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>港湾局</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="9">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>

```

```

    <gml:description>不明</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>その他</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="AdministratorCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DisasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetmentCodeType">
  <xsd:union memberTypes="ksj:DisasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetmentCodeEnumType
ksj:DisasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetmentCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DisasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetmentCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>堤防・護岸が海面に接している(人口海岸)竣工海岸がある</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>竣工堤防はないが、暫定堤防・旧堤防がある</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```

```

    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="3">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>堤防はないが護岸がある</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="6">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>堤防：護岸の海側に浜が発達している（半自然海岸）竣工堤防がある
</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="0">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>堤防・護岸がない（自然海岸）</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DisasterPreventionFacilitiesFloodWallAndRevetmentCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DisasterPreventionFacilitiesDetachedBreakWaterAndJettyType">
  <xsd:union memberTypes="ksj:DisasterPreventionFacilitiesDetachedBreakWaterAndJettyEnumType
ksj:DisasterPreventionFacilitiesDetachedBreakWaterAndJettyOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DisasterPreventionFacilitiesDetachedBreakWaterAndJettyEnumType">

```

```

<xsd:restriction base="xsd:string">
  <xsd:enumeration value="1">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>離岸堤・突堤の有効区間</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="0">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>その他</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DisasterPreventionFacilitiesDetachedBreakWaterAndJettyOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DirectControlConstructionSectionCodeType">
  <xsd:union memberTypes="ksj:DirectControlConstructionSectionCodeEnumType
ksj:DirectControlConstructionSectionCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DirectControlConstructionSectionCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>国</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="0">

```

```
<xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:description>その他</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DirectControlConstructionSectionCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>
```